

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学		講義	井上 寛一	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
生体をからだの仕組み（生体の機能）の面から探究する学問を生理学という。正常な生体の機能について知り、さらに疾病との関わりを理解出来るようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
からだの内部環境はほぼ一定に保たれている（恒常性の維持）。生理学の中でも特に、恒常性を維持するために重要な神経系、内分泌系、免疫系の働き、さらにそれらと疾病との関わりについて理解する能力が身につく。				
授業計画				
回	内容			
1	生理学序論			
2	神経系の仕組みと働き			
3	中枢神経系			
4	末梢神経系（体性神経と自律神経）			
5	神経系と疾病、演習問題			
6	内分泌系の仕組みと働き			
7	視床下部一下垂体系			
8	血糖量と血圧の調節（泌尿器系の役割）			
9	性ホルモンと生殖系			
10	内分泌系と疾病、演習問題			
11	免疫系の仕組みと働き（生体防御の全体像）			
12	自然免疫			
13	獲得免疫			
14	免疫系と疾病、演習問題			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	講義内容の理解度を評価する		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
目でみるからだのメカニズム（第2版）		堺章	医学書院	
自由記載	液晶プロジェクタのスライドを中心に講義資料を配布する。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
ナーシンググラフィカ人体の構造と機能(1)解剖生理学		林正健二	メディカ出版	
イメージできる解剖生理学（自学自習用）		林正健二	メディカ出版	
自由記載	その他、参考図書は授業の際に提示します。			
備考				